

○令和7年度当初予算について

本定例会に提案しております一般会計の来年度予算は、総額 80 億 2 千 900 万円となっており、今年度の一般会計と比較して 4.9%、4 億 1 千 200 万円の減としております。

歳入につきまして、自主財源である町税を、前年度比 2.8%、5 千百万円増の 18 億 7 千 900 万円と見込んでおり、新型コロナウイルスの流行後は伸び悩んでいるものの堅調に増加しており、今後も経済活動の復調や賃金上昇を背景に増加傾向で推移するものと予想しております。繰入金については前年度比 6.6%の 10 億 7 千 600 万円としており、主なものとしては、ふるさと応援寄附基金繰入金が 5 億 4 千万円、財政調整基金繰入金が 4 億 2 千万円であります。また、寄附金ですが、ふるさと寄附金を前年度比 4.3%増の 4 億 8 千万円で見込んでおり、企業版ふるさと寄附金と併せて、引き続き寄附金の増加を目指し積極的に取り組んでまいり所存でございます。

なお、前述の要因により、自主財源の割合は前年度比 3.3%増の 45.3%となっております。

一方、依存財源としましては、地方交付税を 12 億 5 千万円、国庫支出金を 14 億 2 千万円と見込んでおります。依存財源の割合は、町債が 40.6%、5 億 2 千 400 万円減の 7 億 6 千 200 万円となったことで、54.7%と前年度比 3.3 ポイント減少しております。

次に歳出ですが、目的別経費で見ると、前年度と比較して総務費が 11.5%、土木費が 19.2%、公債費が 7.7%増加しており、商工費が 32.5%、教育費が 36.5%減少しております。性質別経費では前年度比、公債費が 7.7%、物件費が 10.7%、維持補修費が 55.9%増加し、普通建設事業費が 29.4%の減少となっております。

代表的な事業としましては、嘉島東小学校校舎増築事業 5 億 9,144 万 3 千円、嘉島東部台地土地地区画整理事業 4 億 418 万円、嘉島中学校改修事業 2 億 4,493 万 1 千円、道路橋梁新設改良事業 2 億 636 万 4 千円が挙げられます。

このほか、来年度は学校給食費の一部無償化として学校給食費補助金 4,625 万 5 千円を計上いたしました。これは、小中学校に通う児童生徒の第 1 子は給食費の半額を免除し、第 2 子以降の児童生徒については、無償化を行うことにより子育て世帯を支援するもので、将来的には完全無償化の実現を目指しております。

財源としましては、堅調に伸びてきている町税及びふるさと寄附金が考えられますが、来年度は全額をふるさと寄付金のうち、寄附金の用途を「教育の推進に関する事業」としてご寄付いただいた分から充当することとしております。なお、「教育の推進」分として今年度充当している事業全てに、来年度も充当できていることから、本補助金に充当することによる既存事業への影響はないものと考えております。

今後もふるさと納税や企業誘致等への取組みを強化し、税収増を図り更なる自主財源の確保に努めてまいります。

学校給食費無償化の実現には、議会による予算の議決が必要です。議員のみなさまのご理解をよろしくお願いいたします。

最後に、本町の財政状況ですが、財政指標に着目すると、令和5年度決算で財政力指数が0.61、経常収支比率86.3、実質公債費比率10.7、将来負担比率66.7となっており、不断の努力により比較的健全な財政状況ではありますが、財政力指数は低下傾向、実質公債費比率は上昇傾向であり、来年度以降も学校教育施設の整備や東部台地土地区画整理事業を予定しており、ますます厳しくなることが予想されます。公債費も年々増加しており、来年度発行予定分までで見ますと、令和11年度にピークを迎えることとなりますが、今後も起債は不可避であり、後年度で更なるピークが来ると考えられます。さらに、今日の物価高騰や賃金上昇により経費は増していく一方であり、非常に厳しい行財政運営が予想されます。

そのような中、歳出の抑制はもちろんの事、嘉島町に住みたいと思えるような施策を推進することで人口増加を図り、先ほど述べましたように企業誘致やふるさと寄附金に注力することで歳入増に努めるとともに、地方自治法にもありますが、常に組織及び運営の合理化に努めながら、最少の経費で最大の効果を挙げるべく、職員一人ひとりが経営者意識、責任感を持って健全な財政運営に努めてまいります。

引き続き皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○令和6年度物価高騰対応重点支援について

国が令和6年11月22日に閣議決定した、国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策に基づき、物価高の影響を受ける低所得者世帯等への支援として、住民税非課税世帯一世帯あたり3万円を支給します。

また、上記に該当する子育て世帯に対し、その世帯員である18歳以下の児童一人あたり2万円を加算支給します。

初回振込みは、3月上旬に予定しています。

○乗合タクシー(ゆうすいGO)の改善について

昨年実施した乗合タクシー利用者アンケート結果では、便数の少なさや定時制が確保できないなどのご意見がありました。

改善策の案について嘉島町地域公共交通会議で審議いただき、自宅から指定乗降所までの「往路」、及び、指定乗降所から自宅までの「復路」についてそれぞれ1日1便、増便することを決定しました。

往路については14時、復路については16時の便を増便し3月1日より運行を予定しております。

また、指定乗降所についても「嘉島町文化センター(西村集会所)」を追加し、「イオンモール熊本の東側の(イオン熊本店前)」に、もう1カ所追加しました。

今後も住民のニーズを把握しながら可能な範囲で増便や指定乗降所の追加の検討を行い、利便性の向上を図りたいと考えております。

○通学路の安全対策について

嘉島中学校の北側に位置し、東西に延びる町道となる上島下六嘉線道路改良事業の進捗状況です。起点は上島側で、中学校西側から東方面に向い、「嘉島町ふれあいセンターイースト」(旧嘉島東幼稚園)付近が終点となる約1.3kmが事業予定範囲となります。

通学路交通安全プログラムにおいて“危険・要注意箇所”であることを受け、主に中学生徒の登下校時の安全性を確保する目的で歩道整備を行う予定です。

昨年末には地権者に対して道路線形案をお示しする事業説明を行い、2月18日から19日には土地の境界確認のための現地立会いを実施しました。

整備計画断面は事業範囲の地形・地物を考慮し、道路の南側へ約2.5mの歩道を設置する予定としています。

○嘉島町洪水ハザードマップの更新について

令和3年に作成しました嘉島町洪水ハザードマップを令和6年10月時点の最新情報を基に更新しました。

今回更新を行いましたハザードマップは更新内容に関係のある5つの行政区(下六嘉区、井寺区、北甘木区、上六嘉区、西村区)に対して、昨年末に配布をしております。

更新内容は、熊本県の管理河川である天水川の浸水想定区域(北甘木地

内の一部)を新たに追加したほか、矢形川・木山川の浸水想定区域(三郎無田地内の一部)及び土砂災害警戒区域等が追加されております。

最新の嘉島町洪水ハザードマップは嘉島町ホームページからも閲覧が出来ます。また、より詳しい情報は『熊本県土砂災害情報マップ』から確認することが出来ます。

○米・大豆の作付け目安について

2月7日に行われた嘉島町地域農業再生協議会において、令和6年産の普通作作物の生産状況を鑑み、農家の所得安定の為、令和7年産の主食用米と大豆等転換作物の生産面積割合を昨年同様「3:7」を目安に、水田面積690haに対し、水稻作付面積202ha、転作面積488ha、転作率70.7%としました。

また、品質と収量を確保しつつ取り組んで行く事に決定しました。大豆の作付けについても、昨年と同様に集落単位での団地化から更に広域的な町全域での団地化・ブロックローテーションに取り組んでいきたいと思っております。

○有機フッ素化合物の状況について

全国、また県内でも有機フッ素化合物の暫定目標値を超える事例が相次ぐ中、嘉島町では今年度、県の調査1カ所と町独自の地点調査4カ所を実施しております。

5カ所の地点におきましては、暫定目標値を上回る箇所はありませんでした。この調査結果につきましては、町ホームページなどで3月中に公表を予定しております。今後も関係機関と連携を図りながら調査を実施してまいります。

○上益城5町のごみ処理施設について

現在、上益城広域連合にて建設予定地の概略予備設計が発注されており、図面の作成や概算費用の算出が行われております。

また、民間事業者「株式会社シムファイブス」において熊本県環境影響評価条例に基づき環境アセスメントを実施されており、令和7年6月頃に準備書が公表される予定です。

その後は、評価書段階と進み、令和8年3月までに環境アセスメントが完了する予定です。

今後も各関係機関との協議や調整を行い、事業の進捗など 随時情報発信しながら事業を進めて参ります。

○東部台地土地区画整理事業「ゆうすいの杜」の進捗状況について

本年度は活断層等の影響のありました 1-1 工区の換地設計を行い権利者の皆様への周知説明を実施し、仮換地指定通知を発送しております。

今後は、1-1 工区南側の造成工事を進めながら、並行して 2 工区に関する権利者の皆様に順次説明を進めてまいります。

○学校施設の整備について

年度内に竣工を予定している各学校における工事のうち、嘉島中学校校舎改修他工事については、特別教室棟雨漏り改修、バリアフリー対策改修等を終え、2月18日に竣工しました。その他のエレベーター設置工事などについても3月中に竣工を予定しております。

○井寺古墳の災害復旧状況について

平成28年熊本地震により被災した井寺古墳につきましては、1月下旬に石室内の安全措置装置の設置が完了したことから、専門家による目視調査を行いました。その後、専門家による検討委員会を開催しましたが、古墳の損傷が想定していた以上に進んでいることから、今後も文化庁などに相談しながら慎重に進めてまいります。

○社会教育関係イベントについて

1月12日に町民会館ホール「アクア」にて二十歳を祝う会が開催され、73名の参加がありました。

また、2月9日に第51回郡市対抗熊日駅伝大会が開催され、本町から3名の選手が上益城郡チームのメンバーに選ばれ、うち高校生1名が大学生や社会人の選手が走る、いわゆるエース区間で力走をみせました。